

マイナスを引きずらないための 組織内に起こる“不手際”対処の三原則

◇◆◇ ルールだけではなく事実即した“ケジメ”方法を決める ◇◆◇

◆本レポートの内容◆

- | | | |
|---------------------------|-------|-----|
| 【1】不手際が生じる“現実”的過程を改めて考える | | 1 頁 |
| 【2】叱り方を間違えると“社内トラブル”になる！ | | 2 頁 |
| 【3】しかし“ルール”を決めれば問題は出ないのか？ | | 3 頁 |
| 【4】案外忘れられがちな“ケジメ”や“罰則”の機能 | | 4 頁 |
| 【5】不手際を“前向き”にマネージするための三原則 | | 5 頁 |

マネジメント サポート



『ルールを決めても、組織運営は必ずしもうまく行かない』と言われることがあります。もしそうだとした場合、いったいなぜなのでしょう。

そこで、ルールがない場合の不都合と、ルールを決めた後に生じる不都合に分け、組織の“不手際”マネージ三原則をとりまとめました。組織運営を難しくする背景には、根深い複雑さが存在するようですが、まずは三原則に沿って、運営の基本を定めるべきだと考えるからです。

山下社会保険労務士事務所
株式会社ビッグバン

TEL : 087-868-9481

TEL : 087-840-0370

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15
香川産業頭脳化センタービル 402 号

FAX : 087-840-0321

Mail : yamashita-m@bigbang-gr.com

URL : <http://www.bigbang-gr.com>